

とらじいちゃん Tojinkyo SSKA 夏

No.218・2017 7.15

おもな記事

特集) NPO法人東京腎臓病協議会 第12回総会報告……………	1
リレーエッセイ……………	12
なかまのたより……………	13
活動のまど……………	15



神田祭

 **特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会**
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

継続は力なり！ 絆を深めて 次世代に繋げよう 医療制度

定刻通りに須賀理事（虎の門・高津会）の司会進行で始まりました。

正会員数の参加人数確認・総会の成立確認



参加者全員で黙祷

司会 当法人の正会員数は、事業年度末現在96人で議決権総数は96名。本日出席の正会員数は38名、書面評決数29名、合計67名です。よって、本日は正会員数及び議決権総数のいずれも過半数は出席しておりますので、定款27条の規定

梅原会長挨拶

本日はご多忙のところ東腎協総



梅原会長

に基づき本総会は成立していることをご報告いたします。

*定款27条参照

総会は正会員数の2分の1以上の出席が無ければ開会することができない。

司会 それでは最初に梅原会長よりご挨拶をお願いいたします。

会にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、ここ一年間で亡くなられた方の会員の皆様のご冥福を祈り黙祷したいと思いますので、ご起立をお願いいたします。（全員起立して黙祷）

ありがとうございました。

特集

目次

NPO法人東京腎臓病協議会	なかまのたより	13
第12回総会報告	活動のまど	15
2017年度東腎協役員		
	暑中見舞広告	19
リレーエッセイ	事務局から	23
住安 重		

本総会は、皆様の温かいご支援と建設的なご意見をいただきながら進行を進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

司会 ここでは本総会にメッセージ

議長選出

司会 只今より、NPO東京腎臓病協議会第12回総会の議事に入らせていただきます。ここで総会の議長を選出したいと思います。定款26条に「総会の議長はその総会に出席した正会員の中から選出する」とありますので、立候補され



議長の斉藤正会員



議長の高暮正会員

が届いていますのでご紹介させていただきます。

○NPO法人神奈川県腎友会

会長 前田芳夫様

○群馬県腎臓病患者連絡協議会

会長 清水操様

ありがとうございます。

る方がおられましたら挙手をお願いいたします。(会場より一任の声) それでは、こちらであらかじめご用意させていただいている正会員で理事の斉藤和巳さん(八王子桑の実会)と正会員で理事の高暮宏さん(腎内科クリニック世田谷患者友の会)を推薦したいと思います。異議がありませんでしょうか。異議がないようでしたら、拍手をもって選任といたしたいと思います。拍手多数により、議長が選任されました。それでは、議長のご挨拶をお願いいたします。

議長(斎藤) ただ今、ご指名いただきました「八王子桑の実会正会員」の斉藤です。皆様の積極的なご意見をいただき、充実した総会の議事進行を行いますので、よろしくご協力をお願いいたします。

議長(古暮) 同じく議長にご指名をいただきました「腎内科クリニック世田谷患者友の会正会員」の高暮です。よろしくお願いたします。

司会 続きまして、定款30条により、本総会の議事の結果を議事録に記録し、確認していただく方を二名選任していただかなければなりません。どなたかいらっしゃいますか。いらっしゃらないようなので、中村正会員(新葛友の会)



司会の須賀理事

と長井正会員(にこたま会)を指名させていただきますと思います。拍手多数)ありがとうございます。拍手多数により、議事録署名人が決定されました。それでは、さっそく議案の審議に入らせていただきます。議長、よろしくお願いたします。

議長(斎藤) それではNPO東京腎臓病協議会第12回総会の議事に入らせていただきます。議案集では、第一号議案から第二号議案まで、一括審議、一括採択となっております。各議案ごとに質疑応答をさせていただくことをご了承いたします。それでは、2016年度事業報告を板橋事務局長よりご報告をお願いします。

第一号議案 2016年度事業報告

2016年中期事業計画の2年目として
2016年4月1日～2017年3月31日
議案集(1～6頁参照)

1 はじめに

第一号議案であります「2016年度事業」についてご報告させていただきます。議案集の1ページをご参照ください。

私たち東腎協は一昨年の第10回総会において「中期事業計画」(2015～17年)を採択しました。その大きな柱は、
①過去10年以上にわたる会員減少に歯止めをかけ、安定した400

0名会員を目指すこと。
②会員減少に伴う財務体質の弱体化を克服すること。
③患者の医療福祉の向上を目指し社会貢献活動を推進すること。
でありました。

(1) 患者会の現状

その事業計画の実践のために各ブロックで正会員会議や会員交流会が開催され、会員増強や未組織施設対策に取り組みました。

さらに、300名近い個人会員を対象に、ブロックごとに交流会、新年会、お花見会など開催し、会員拡大への新しい取り組みを行いました。その結果、2016年度中に多くの新しい会員を迎え入れることができました。

しかし、2016年度末の東腎協会員数は約3200名(会費入金ベース)と、残念ながら前年比約250名の減少となり、長年にわたる会員減少に歯止めをかける



板橋事務局長

ことはできませんでした。

会員減少問題は全国的にも大きな問題となっています。この要因は、患者会役員の高齢化や透析医療環境の一定の安定化が実現し、患者会そのものの存在価値や意義が薄れ、魅力あるものになっていないという現状を生み出してきたからではないでしょうか。

1ページの表「2015年12月末現在の我が国の慢性透析療法の実況(日本透析医学会)」をご覧ください。

透析患者の平均年齢は67・68歳と年々高齢化して、患者会役員の担い手や後継者が育たず、解散に追い込まれた患者会も少なくありません。

さらに、新しい透析患者は年間約4万人増えておりますが、今日の医学の進歩でますます高齢化し、その導入平均年齢69・2歳となっています。

透析医療制度が当たり前となっている今日、新しい患者さんに入会を訴えても、患者会の歴史や意義・その必要性を理解いただくのが難しいのが現状で、患者さんの高齢化も新しい仲間づくりには不利な状況となっています。

また全国の死亡患者数は3万1千068人と全透析患者の約一割で、東京でも約3万人の患者の一割、約3000人近くが亡くなっていることになり、会員減少の大きな要因となっています。

透析患者の年齢層は、70歳以上の患者が約14万8千人と団塊世代を中心に患者全体の50%近くを占めています。

このことは、近い将来、透析患者が激減し、さらに高齢化していくことがうかがえます。そして、透析施設も患者の減少により、経営上から閉鎖、合併など統廃合も余儀なくされることが予想されます。

したがって、今日の透析医療環境や制度を守っていくためにも、改めて患者会の存在意義が問われている一方、われわれ東腎協が取り組む活動も現状に対応し大きく変化する必要があるのではないのでしょうか。

(2) 医療環境をめぐる情勢

次に、私たち透析患者の医療環境をめぐる情勢についてご報告いたします。

財政的に厳しい自治体の、透析患者への医療費助成は徐々に崩壊してきています。東京に次ぐ大都



真剣に参加する正会員

市である大阪府では、複数受診の患者に対し自己負担の増額が計画されています。

一医療機関受診に対し、月2回以上受診した場合、1回500円の診療費と薬代の自己負担が2018年を目前に予定されています。月当たり上限34500円で検討されているようですが、大阪腎臓病協議会の緊急の反対運動や請願署名活動も実らなかったようです。

難病患者の中でも透析患者の医療環境は比較的恵まれているといわれています。一部の医療関係者

や我々透析患者の中でも、医療費の一部負担は仕方ないという意見もあります。しかし、この一か月約5千円、年間約6万円の自己負担が支払えずに透析を受けなければ、我々は確実に死に至ります。年金生活者や低所得者はこの医療費助成があつてこそ生存しているのです。

これは日本国憲法第25条「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という生存権が脅かされる問題ではないでしょうか。

東京にもこの影響は必ず現れるでしょう。いまから、あらゆる手段を講じて対応を準備していきましよう。そのためにも、東腎協は組織的にも運動的にも、さらに強固にならなければなりません。

(3) 財務体質の弱体化の克服
会員減少により2016年度財政はさらに厳しくなりましたが、決算報告にあるように、事務局経費をはじめ諸経費の削減、事業費の見直しなどでほぼ予算並みの収支となりました。

さらに、昨年度は1000万円を超える寄付金があり、おかげさまで決算としては黒字となりました。



真剣に参加する正会員

2 各ブロック・青年部活動

各ブロックや青年部では、勉強会・学習会を企画して、腎臓病に関する正しい知識の普及や予防啓発活動に取り組みました。活動の詳細については、議案集2ページから3ページの報告をご参照ください。

次に、患者会活動の両輪であります、医療と福祉の向上と社会貢献活動についての活動報告を行います。

3 社会貢献活動

(1) 「第36回臓器移植普及推進キャンペーン」

「第36回臓器移植普及指針キャンペーン」が10月2日(日)に東京都との共催で上野恩賜公園と井の頭恩賜公園の二会場で行われました。

臓器提供意思表示カードや風船の配布とともに、上野恩賜公園では通行人への「臓器提供意思表示カード」についてのアンケートや、井の頭恩賜公園では東京医科大学八王子医療センターの医者・スタッフによる尿検査・血圧検査・健康相談など、従来になかった企画を盛り込んだキャンペーンが行われました。また、井の頭会場には三鷹市、武蔵野市の後援をいただきました。

(2) 「第28回腎臓病を考える都民の集い」

3月12日(日)東京都の共催を得て、「第28回腎臓病を考える都民の集い」が開催され、200名近い都民の皆さんが参加されました。この活動は、腎臓病に苦しんでいる都民の皆さんに、少しでも力になろうと、28年前から社会貢献の一環として開催してまいりました。東京都や諸団体の後援を得

て、今後も継続してまいりたいと思います。

(3) 国会請願運動

第46回国会請願は2017年3月16日(木)参議院第一議員会館大会議室で全国の代表約200名が参加して行われ、東京選出の衆参国會議員11名に請願署名を渡しました。東京の署名数は全腎協1万7千074筆で、募金は105万8千340円でした。会員の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

4 委員会活動報告

委員会活動報告は、議案集4〜5ページをご参照ください。

① 東京都予算要請

東腎協の重要な活動である東京都への2017年度予算要請は、8月25日(木)都庁第一本庁舎会議室において行われました。各種医療助成制度等の維持継続やCKD(慢性腎臓病)への取り組み推進についてなど、8つの大項目と16の小項目を要請しました。いわゆるマル都、マル障制度はこのような要請を通じて一年毎に更新されています。詳細については機関誌「とうじんきょう」NO.214に掲載

してありますのでご参照ください。
②都議会各党とのヒアリング

また、東京都への予算要請の実現のため、都議会各党派へのヒアリングが9月8日（木）に行われました。都議会自民党、都議会民進党、都議会公明党、日本共産党都議団、都議会生活ネットワークの各党派と20分～30分の話し合いがもたれ、透析患者の実態と要請の内容を説明し、理解していただきました。

5 関連する他団体との活動報告

(1) 全腎協

全腎協は昨年、結成45周年の大きな節目を迎えました。

4月に発生した熊本県の大地震では、隣接する大分県などを含め、透析施設透析患者が大きな被害を受けました。全腎協では、翌日「熊本地震災害対策本部」を設置し、情報収集や情報発信、透析患者の医療や生活への支援に取り組みました。

首都直下型地震発生確率の高まりが言われている昨今、我々東腎協も喫緊の課題として危機感をもっているいろいろな対策に取り組んで

いかなければなりません。
長年にわたる全腎協の大きな課題である会員減少の流れも収まっています。

全腎協では、会員減少に伴い、昨年12月に経費削減と事務局の整備・強化に具体的に取り組むために、事務局の移転を行いました。来年は、いよいよ「30年問題」と言われてきた「診療報酬」と「介護報酬」同時改定の年を迎えます。全腎協は、しっかりと実効性のある活動を展開していかなければなりません。

(2) 東難連（東京難病団体連合会）

国の指定難病が56から306疾病に、そして4月には330疾病に拡大されました。

私たち透析患者に関連する腎臓病領域の難病は、既存の2疾病から新たに6疾病が難病指定されました。しかし、なお、希少難病は4000～5000疾病あるといわれています。

東難連の最有力加盟団体である東腎協の果たす役割も引き続き重要だと考えています。

6 その他の事業活動報告

最後に、今年度も多くの賛助会員様からご協力いただき、機関誌「とうじんきょう」へ広告掲載していただきました。賛助会員様の

2016年度事業収支報告（議案集8～9頁参照）

2016年度会計監査報告（議案集11頁参照）



収支報告する戸倉理事

温かいご支援に感謝申し上げます。
以上で2016年度事業報告といたします。



監査報告をする山口監事

議長（斎藤） ありがとうございます。以上で第一号議案のご報告、ご提案をさせていただきます。これより第一号議案の審議に入らせていただきます。

議長（斎藤） それでは、ご質問、ご発言はありますか？ ご発言がないようなので、ここであらかじめ正会員の皆様より発言用紙で提出されたご意見が2件ありますのでご紹介させていただきます。

質問 西澤正会員（あかまつ透析クリニック）

今回が初参加となります。よろしくお願いたします。個人では

勉強はしておりますが、やはり食事管理が一番難しく上手いきません。透析になつて一年二ヶ月とまだまだ新参者ですが、皆さんが元気に現状に立ち向かい、より良い透析環境で日々を過ごせるようなアドバイスをお願い致します。

質問

野口正会員（清湘会病院腎友会）
東腎協大会に於いて透析30年の方の表彰がありますが、規定、規約はあるのでしょうか？

東腎協に入会してなくても透析30年になれば、表彰されるのでしょうか？

東腎協に入会して30年にはなっていないが、透析歴が30年あれば表彰されるのでしょうか？

回答 小野理事（総務委員長）

東腎協に入会していただかないと個人の情報が確認できないという事と、東腎協の運営資金は、皆様からの浄財で運営されていますので、会員でない方を表彰するには皆様に了承を得なければいけませんので、難しいと思います。また、会員歴は、30年なくても表彰の時期に会員であれば表彰の対象になります。

議長（斎藤） ありがとうございます。他にご質問はございますか。

質問 山崎正会員（東海病院ひまわり会）

会員の獲得についてですが、東腎協からは会員を増やせと号令はかかりますが、東腎協からの具体的な、説得力のあるチラシ等のメ



小野理事

ッセージが少ないのではないかと。具体的に説得力のあるものを作成してほしい。

質問 鬼頭正会員（新江東橋クリニック腎友会）

東腎協の機関誌を読む方がほぼ決まっているので、壁新聞的なチラシの様にして掲示板に張れるような形にして、会員以外の方にも情報を発信できるようにしてはどうでしょうか？

回答 板橋事務局長

会員拡大の宣伝物について、今新規の入会パンフレットを作成中です。また、各患者会で作成している入会チラシ等は、機関誌でも



山崎正会員



鬼頭正会員

紹介させていただきました。更に各患者会では具体的な内容のチラシは作成していて、その情報も事務局では、集約しています。その情報を各患者会に反映するように事務局でも努力したいと思っています。同時に、東腎協からと言うより、各ブロック単位で正会員会議等を行っておりますので、そこで情報交換をして宣伝物やチラシ等を作成してもらいたいと基本的には思っております。

機関誌の他に壁新聞的な掲示板に張れる様なものの作成については、群馬県では、機関誌が作成できないので壁新聞を作成しています。東腎協としては、事務局

2017年度事業計画（案）

患者会を中心に有意義な透析生活を送ろう

1 はじめに

2016年度報告の通り、昨年度、私たちは長年にわたる会員減少に歯止めをかけ、3500名会員を目指しました。しかし、皆さんの努力にもかかわらず約250名の会員減少となりました。

その要因の一つは、長い間、患

の体制不足と言ってしまえばそれまでなのですが、トピックス的なものを年に何回か発行できるように検討してみたいと思います。

議長（斎藤） ありがとうございます。ここで第一号議案の採決に入らせていただきます。第一号議案についてご承認の方は拍手を

もってお願いいたします。（会場より拍手多数）

第一号議案は原案の通り可決いたしました。ありがとうございます。

引き続き第二号議案の審議に入らせていただきます。2017年度事業計画（案）を梅原会長に変わりました。板橋事務局長より提案していただきます。

患者会を支えお世話をしてこられた役員の方々が、高齢化するとともに、東腎協として後継者の育成・指導ができなかったからです。

そして、透析医療環境の一定の安定化が実現し、「どこでも、だれでも同じように、ほとんど無料で透析を受けられる」ことが当たり前の時代になり、患者会の歴史、

存在意義が薄れてきていることです。

患者会活動は、総会、学習会、旅行会、新年・忘年会など多岐にわたりますが、年々、役員さんの高齢化とともに患者会活動がおろそかになったり、新しい患者を迎えても、話しかけるのが億劫になったり、会員同士のコミュニケーションがとれなくなったり、最悪、リーダーが倒れたりすれば、そのまま患者会を解散するということが少なくありません。

事業報告でも述べたように、透析患者は近い将来減少します。そして透析施設も統廃合などが予想されます。また、大阪の例もあり、透析医療費の一部自己負担は東京でも必ず問題になってきます。昨年大騒ぎになった、あの「長谷川豊」やその同調者に二度と誹謗中傷を受けないように、我々はいまからあらゆる準備対応をしていきましょう。

したがって、今こそ原点に立ち返って、魅力ある患者会づくりに邁進しましょう。

2 会員増強・魅力ある患者会づくり

(1) 「中期計画」3年目標
今年度は2015年から2017年までの「中期計画」の最終年でありませう。

しかし、現状では「中期計画」目標の4000名会員はかなり困難な情勢です。さらに昨年度の目標であった3500名も厳しい状況ですが、全患者会の総力をあげて、今年度目標として3500名を掲げたいと思います。

(2) 魅力ある患者会づくり

患者会活動は我々の原点であります。役員さんの高齢化や患者さんの無関心さなど困難はたくさんあると思いますが、患者会の役員さんが一人で悩んだりご苦労されることなく、困った問題はどんなことでも事務局にご相談ください。

東腎協役員と一緒に困難を乗り越える方策を考えましょう。そして、今の医療制度を今後も堅持していくためにも、「患者会に入って良かった」「諸先輩から学び、長生きできて良かった」と言われるような、魅力ある患者会活動を目指しましょう。

そのためには、従来の学習会、旅行会、懇親会だけでなく、絵手紙、書道、写真、料理、俳句、山

歩き、ハイキング、ボーリング、カラオケ大会など、多彩な企画を、患者会の枠を超えて、全都、全ブロックで展開していきましょう。

(3) 個人会員の拡大強化

東京都の透析施設約400のうち3分の1が未組織施設です。現状では、施設の協力が得られなかったり、患者さんの関心が薄かったり問題は山積しています。まずは個人会員の拡大強化に取り組み、患者会の必要性、重要性を訴えて行きます。

そのために、ブロックごとに未組織訪問計画を立て取り組みましょう。東腎協としては、ブロック長を中心に定期的な組織対策会議・経験交流を行います。

また、東腎協には約300名の個人会員がいます。昨年に引き続き、ブロックごとの個人会員交流会・懇親会を積極的に計画し、個人会員の活性化・グループ化を目指しましょう。

3 社会貢献事業活動

(1) 「第37回臓器移植キャンペーン」

10月に上野恩賜公園（都心部ブロック）と井の頭恩賜公園（多摩

ブロック）で東京都と共催で開催します。会場ごとに実施計画書を策定し、昨年度を上回る実績を目指します。

(2) 東京都への「2018年度予算要請」

昨年度と同様に重点項目に絞り込み、8月に東京都に2018年度予算要請を行います。行政委員会を中心に学習会などを企画し要請内容をさらに深めます。

各種医療費助成制度の維持継続や要介護透析者への支援強化、透析患者の大災害時の対策、就労支援についてなど、透析患者の医療環境改善の要求などを中心に要請いたします。

また、東京都議会各党に我々の状況を理解していただき、力強い支援を訴えます。

(3) 第47次国会請願署名活動

全腎協主催で46年続けてきました「国会請願署名活動」は、ややマンネリ化しておりますが、今後もしっかり取り組むべき重要な活動です。

地道に確実に取り組み、国とのパイプを維持すべき活動として取り組みます。署名活動の取り組み期間は2017年10月から2018年1月までといたします。

(4) 腎臓病を考える「都民の集い」の開催

広く一般市民に腎臓病の早期発見、早期治療を啓蒙するため、2018年3月に「第29回腎臓病を考える都民の集い」を東京都と共催で開催します。マスコミ・医療施設・公共施設等への宣伝を強化して、昨年度を上回る実績を目指します。

(5) 首都圏大災害への対策

東北大地震、熊本・大分大地震の教訓から、透析患者の災害対策は緊急かつ重要な課題です。「首都直下型大地震に備えるために」をテーマに、9月に行われる東腎協第7回大会では福島、熊本、神戸などから被災者の透析患者を招き、パネルディスカッションなどを企画し、実体験を学ぶ予定です。東腎協「災害対策」会員名簿の更新・作成と、災害時緊急連絡網の整備を行います。

2017年度事業会計予算(案) 報告(議案集10頁参照)

議長(斎藤) ありがとうございます。以上で第二号議案のご報告、ご提案をさせていただきます。これより第二号議案の審議に入らせていただきます。

4 広報活動

広報活動は、機関誌「とうじんきょう」の発行やホームページでのPR活動、新聞、テレビなどマスコミに対する広報活動を強化します。

また、「入会パンフレット」をリニューアルし、広く患者さんに訴え、会員拡大に活用します。

最後に、以上の事業方針を、力強く成功させるために、梅原会長を先頭に、東腎協役員一同事務局員一同、患者会の役員さん会員さんとともに奮闘していく決意を表明して、2017年度事業方針の提案とさせていただきます。

ともに頑張りましょう。

議長(斎藤) ありがとうございます。続きまして、2017年度事業会計予算(案)を戸倉理事より提案させていただきます。

質問 永見正会員(井の頭クリニック腎友会)

慢性腎臓病(CKD)患者の入会を強化しますについてですが、透析導入する前の方は、特定機能



永見正会員

病院の大きな病院に入院、通院をする方が多いと思うのですが、そういう大きな病院への入会活動はするのでしょうか。

回答 小野理事(総務委員長)

慢性腎臓病の方が全国で約1300万人いると言われています。東京には、約1割住んでいますので約130万人方が該当すると思われれます。そこでホームページ、機関誌、イベント情報等の伝達方法を見直していかないと、今の透析患者中心の体制では、会が成立する状況が厳しいです。CKD患者に東腎協の存在意義を理解していただくためにも広報活動を見直していくという事です。

回答 板橋事務局長

東京都と共催で行っている「都民の集い」では、今年度より全区市町村の保健所窓口ポスター、チラシを掲示されることになりました。また、一昨年から東京都内



榊原理事



藤田正会員

の腎臓内科を併設している病院約400施設にダイレクトメールでポスターを送付しております。これらを毎年継続して行う事で、CKD患者に徐々に情報が浸透して行くだろうと思います。

質問 藤田正会員(小池会)

経費の中で、全腎協への供出金が約半分くらい占めています。拠出金額の適切さとか、付加価値について全腎協と話されているのか、また、会議等で話題になっていることなどがあればお聞かせ願いたいのですが。

回答 榊原理事(全腎協理事)

全腎協の理事会や、公の会議で

この議題が話し合われたことはありません。ただ、いくつかの県からは東腎協と同じく問題があるのではないかと言う事は出ていますので、東京の方から今の意見は出したいとは思っています。

質問 藤田正会員（小池会）

東腎協の中では、全腎協に対してどういうスタンスで行こうとか、提案等があればお聞かせください。

回答 梅原会長

全腎協の会費問題についての意見は、ゼロではありませんが、今、全腎協の取り組みとしては「特区チャレンジ事業」を設けて総額100万円の予算で各県20万円



塚田正会員



糸賀正会員

を限度に補助金をだしています。今年度の予算は250万円です。補助金を出すことで、会費の値下げの事は全腎協では考えていない模様です。

質問 糸賀正会員（松和患者会）

東腎協大会の予算は、組織活動費に組み込まれているのか、またどれ位の予算で執行するのか教えてください。

回答 戸倉理事（財務委員長）

大会の予算は、組織活動費に組み込まれています。その中で大会費用は70万円を予定しております。質問 塚田正会員（新中野フェニックス会）

透析30年、40年表彰について確認したいのですが、今回全腎協より透析40年表彰が届いています。東腎協の方はどうなのでしょう。回答 板橋事務局長

30年表彰についての規定は特にありません。全腎協の40年と言うのは定例になっています。東腎協としても会員の高齢化と言う事も踏まえて、30年表彰だけでいいのか、20年、10年と年に1回は表彰すると言う事も含めて検討させていただきます。40年表彰に関しては、全腎協にお任せしているとい

うのが現状です。

議長（斎藤） 他にご意見はありませんか。ないようなので第二号議案の採決に入らせていただきます。

第二号議案についてご承認の方は拍手をもってお願いいたします。（会場より拍手多数）

第二号議案は原案の通り可決い

第二号議案NPO東腎協定款改定（案）報告

（定款一部改定についての内容詳細については各患者会の正会員又は事務局へお問い合わせください）

議長（古暮） ありがとうございます。以上で第三号議案のご報告、ご提案をさせていただきます。これより第三号議案の審議に入らせていただきます。

質問 藤田正会員（小池会）

本総会の定款の変更は、定款第7章の定款の変更、解散及び合併に該当する所だと思っております。ここに書かれている、法25条第3項は、どういう事を言っているのですか。

回答 小野理事（総務委員長）

東腎協は、NPO法人になっておりますので、東腎協の活動はN

たしました。ありがとうございます。

議長（古暮） 続きまして第三号議案に入らせていただきます。定款第51条定款の変更に基づきNPO東腎協定款改定（案）を総務担当の小野理事よりご提案をお願いいたします。

PO法の名に基づいて、活動しなければいけません。定款の改定に当たっては、皆さんに承認を得て、所轄庁に提出をして承認を得なければいけないという事です。

議長（古暮） ありがとうございます。

か。ないようなので、第三号議案の採決に入らせていただきます。第三号議案についてご承認の方は拍手をもってお願いいたします。（会場より拍手多数）

第三号議案は原案の通り可決いたしました。ありがとうございます。

第四号議案 2017年度新役員

議長（古暮） 本年度は、理事の一 改選期で在ります。名前を呼ばれ



2017年度東腎協執行部の皆さん

た方は、前の方に出てお並びください。それでは、新任理事及び退任理事のご紹介を役員選考委員長の須賀理事よりお願いいたします。

○2016年度退任役員
理事 遠藤博迪（すながわ相互診療所患者会いずみ）
理事 清水陽介（すながわ相互診療所患者会いずみ）

○2017年度新オズバー
永見明子（井の頭クリニック腎友会）
山田裕美（あけぼの友の会）
（2017年度新役員は本誌11頁を参照）

議長（古暮） ありがとうございます。以上で第四号議案のご報告、ご提案をさせていただきました。これより第四号議案の審議に入らせていただきます。ご質問のある方は、お願いいたします。ご質問がないようなので、第四号議案の採決に入らせていただきます。第四号議案についてご承認の方は拍手をもってお願いいたします。（会場より拍手多数）

第四号議案は原案の通り可決いたしました。ありがとうございます。

議長（斎藤） 以上で本日の本総会の議事を全て終了させていただきました。ありがとうございます。司会 それでは、只今より10分間の休憩を取らせていただきます。

梅原新会長挨拶

皆様お疲れ様でございました。只今、臨時理事会を開催しました結果、私、梅原が再度会長に指名を受けました。理事、正会員、会員の皆様のご支援、ご指導をいただきながら東腎協の活動を更に推進させて行きたいと考えております。振り返ってみますと東腎協も45年の歴史を刻み、現在抱えてい

その間に臨時理事会を開催しますので理事の方は廊下に集合して下さい。

.....

司会 お待たせいたしました。只今、開催された臨時理事会に於いて新会長が選任されましたので、戸倉議長よりご報告をお願いいたします。

戸倉議長 本総会に於いて承認されました理事により臨時理事会を開催いたしました。定款第14条第2項の会長選任について互選により2017年度新会長に梅原理事を新会長に選任したことをご報告いたします。

司会 ありがとうございます。それでは、梅原新会長にご挨拶をお願いいたします。

る問題もたくさんあります。高齢化に伴う会員の減少、役員後継者不足等々ありますが、ここで活動が停滞したら、我々の医療制度が堅持されません。私達は、将来に向けて医療制度を守って維持していく義務と責任があると思うのですが、皆さんいかがでしょうか？（会場より拍手）

この活動が私達の活動の原点なのです。今年度、新理事2名が就任しました。留任された理事と共に更に医療制度が進化していくように皆さんと協力して活動を進めて行く事をお約束して就任の挨拶といたします。

司会 ありがとうございます。正会員の皆様今日は、総会にご出席いただきましてありがとうございます。これでNPO東京腎臓病協議会第12回総会を終了いたします。

お知らせ

NPO東腎協第12回総会に於いて、第三号議案「NPO東腎協定款改訂（案）」を採択致しましたが諸事情により所轄庁に受理されませんでした。7月23日に行われた第129回理事会において、来年度の総会に再度「定款改訂（案）」を提案することにいたしました。

2017年度NPO東腎協役員

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名
1	会長(全腎協理事)	梅原 秀孝	うめはら ひでたか	多摩	府中けやき会
2	副会長	戸倉 振一	とくら しんいち	東部	森山友の会
3	副会長	小野 誠	おの まこと	多摩	吉祥寺あさひ腎友会
4	事務局長	板橋 俊司	いたばし しゅんじ	多摩	日野クリニック腎友会
5	事務局次長・会計	白坂 徹夫	しらさか てつお	事務局	個人会員
6	理事	金井 信憲	かない のぶのり	東部	新江東橋クリニック腎友会
7	理事	工藤 育夫	くどう いくお	北部	東海病院ひまわり会
8	理事	古暮 宏	こぐれ ひろし	中南部	腎内科クリニック世田谷患者友の会
9	理事	齊藤 和巳	さいとう かずみ	多摩	八王子東町クリニック桑の実会
10	理事(全腎協社員代表)	酒井 豊	さかい ゆたか	東部	菊川橋クリニック腎友会
11	理事(全腎協理事)	榊原 靖夫	さかきばら やすお	北部	高中腎友会
12	理事	須賀 春美	すが はるみ	中南部	虎の門高津会本院
13	理事	杉崎憲三郎	すぎさき けんざぶろう	多摩	個人会員
14	理事	鈴木 明彦	すずき あきひこ	北部	高中腎友会
15	理事	住安 重	すみやす しげる	東部	新小岩クリニック患者友の会
16	理事	田崎 勲	たさき いさお	東部	新小岩クリニック患者友の会
17	理事	中野 雄蔵	なかの ゆうぞう	多摩	織本病院腎友会
18	理事	中村 博	なかむら ひろし	東部	新葛友の会
19	理事	長井久美子	ながい くみこ	中南部	にこたま会
20	理事	永見 明子	ながみ あきこ	多摩	井の頭クリニック腎友会(青年部)
21	理事	松本 茂利	まつもと しげとし	中南部	個人会員
22	理事	三好かおり	みよし かおり	北部	高松病院腎友会
23	理事	村門日出雄	むらかど ひでお	東部	新小岩クリニック患者友の会
24	理事	村越 京子	むらこし きょうこ	多摩	八王子東町クリニック桑の実会
25	理事	山田 裕美	やまだ ひろみ	多摩	あけぼの友の会
26	監事	糸賀 久夫	いとが ひさお	中南部	松和患者会新宿南口支部
27	監事	山口 登	やまぐち のぼる	多摩	個人会員

退任理事・オブザーバー

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名
1	理事	遠藤 博迪	えんどう ひろみち	多摩	すながわ相互診療所患者会・いずみ
2	理事	清水 陽介	しみず ようすけ	多摩	すながわ相互診療所患者会・いずみ

リレー エッセイ

仕事一筋、世界20か国へ

若いころは仕事一筋で営業に機械修理など夢中になって頑張り、今考えると良く働いてきたものだと思います。日本国内はもとより、中国の主要都市や東南アジア各国アメリカ・ブラジルなど世界20か国ほど行き、自分の力では行けないような所に会社の仕事で行けたのも幸運だったかもしれません。扱っていた仕事は食品機械の製造販売でした。カップラーメン・ゼリー・プリンなどの製造ラインなどの高額なラインを良く営業出来たものと、今考えると自分ながら良く頑張ったと思っています。

透析導入半年前位から、日中働いていても身体がだるく、病院に行ったところ「あなたは腎臓に異常がありますので治療の必要が有

ります。」と言われ大学病院を紹介され、2年程通院しました。2年間の通院している間に2回、1週間ほどの入退院を繰り返し治療を受けましたが、身体に浮腫みが出る様になり薬の「治療では治るのは無理です」ので透析治療しか方法がありません。」と言われましたが、透析がどんなものかわからずに何回も説明を受け、妻も一緒に病院に行き勉強をしたりしたので、決断が付かず無理をしてブラジルに仕事に行き2週間も日本に帰って来れませんでした。

ブラジルに滞在中に、足がムーミンの足みたいになり、帰国してすぐ病院に行きましたら先生に怒られその日にシャント手術、翌日から透析が始まりました。1週間ぐらいして自宅近くの新小岩クリニック船堀に転院しました。

透析を導入して一番楽になった事が、足の浮腫みがなくなり普通に歩ける様になり、貧血の治療をしてもらえるので身体の怠さがなくなった事です。最初の頃は血圧が安定しなかったり体調が何となく調子悪く悩みましたが、現在は自分の身体に合った食事等も何とか判ってきましたので週3回病院に通って、透析の仲間と話をするのも楽しみになってきています。

友の会の入会は新小岩クリニックに移って、一ヶ月した頃友の会について話しかけてきた方がおり入会しました。説明を聞いてすぐに入会いたしました。現在は副会長を務めさせて頂いています。

新しく入ってきた患者に友の会への入会を話しても「友の会に入ると何か良い事がありますか」と聞きますので「透析費が無料にな

るのが最高に良い事ではないのですか。」と言ってきたのですが「何もしなくても治療費は無料でしょう」と入会をしてくれませんか。何とか一人でも入会してもらえよう。毎日努力をしております。

東腎協で「勉強」

新小岩クリニック患者友の会の会長から「東腎協に入って勉強してみてもどうか」と言われオプザーバーで加入させて頂き、現在は理事と言われていますが何も出来ていません。それというのは周りの優秀な方々が多く、付いて行くのが精一杯です。早く追いつけるよう努力します。

全腎協・東腎協先輩の方々の努力はいかほどのものだったか想像もつきません。友の会の会員が集まらないなどと言っている自分が恥ずかしいと思います。精一杯努力して頑張ろうと思います。

最後に東腎協の先輩方の行動を良く見てこれからも一層の努力をし透析治療の高額な金額を無償化にするのに努力された、先輩方に感謝しながら生きていこうと思います。

住安 重さん



透析8年 (74歳)

NPO東腎協理事

新小岩クリニック患者友の会



祝 透析40年
小野信子さん

横溝久美子

(長久保ハナミズキ会)

6月1日に透析40年となった小野さんのお祝いをサプライズで行いました。

透析開始前に秘かに準備をし、小野さんが到着すると、まずは透析スタッフから色とりどりの花束が贈られ、ハナミズキ会からはかわいくすだま。小野さんが紐をひっぱると『おめでとう』の垂れ幕がお目見えし、それと共に「パーティーフラッシュ」という金銀のテープが投げられ、コンサートさながらの賑々しさの中、会員みんなの心からの拍手が響きました。さらに、ラムネの入った会員手作

りのレイをかけ、心ばかりの記念品を渡しました。小野さんは思いがけないお祝いに大変喜んで下さいました。

40年の長い間には、手術も10回、入院も10回以上あり、多くの辛いことも乗り越えられてきました。そこには小野さんの強い意志があったからこそだと思います。

立川病院では女性初の透析患者で、当時はたくさんの本を読んだり勉強をして自己管理に励んだそうです。今でもリンやカリウムの薬を飲むことなく維持できているのは、その時の厳しい自己管理が身に付いているからだと思っています。



祝 透析40年小野さん

全腎協から贈られた表彰状を手にした時には「40年の苦労が報われました。」と感激していました。そして、「これからは機械もほとんどよくなり、苦しい思いをせず、長く透析生活を送れるはずですよ。みなさんも頑張ってください。」と励ましの言葉を会員に贈ってくださいました。

これからも小野さんに多くを学び、次に続くことができるように会員同士助けあっていきたいと思っています。

東腎協／趣味の会 第1弾
歩こう会発足について

古暮 宏

(腎内科クリニック世田谷患者友の会)

東京には数多くの名称、旧跡、公園、美術館、美しい街並み等がありますが、私達は東京に居ながら行った事の無い場所が沢山あるのではないのでしょうか？

特に私たち透析患者は、透析による時間的な制約や低栄養による筋肉量の減少、筋力の低下もありこうした場所を個人的に訪ねることは困難なことだと思います。また筋力の低下は運動機能の低下、身体活動量の減少となり結果とし



て生命予後の悪化に繋がる事が文献でも明らかにされています。

そこで、東腎協として会員皆様の生活の質を向上する一助にならないかと考え名所、旧跡等毎回コースを変えて訪ねる「東京再発見」の『歩こう会』を計画してみたいと思います。如何でしょうか？内容的には、月1回程度昼食を挟んで4時間位、お仲間と語らいながらのウォーキングを楽しめればと思います。

この企画についてご賛同頂き参加ご希望の方は、事務局までお知らせ下さいませようお願い致します。

2017年度「全腎協全国大会in福井」に参加

佐藤紀子

(透析歴40年・個人会員)

今年の全腎協全国大会が福井であり、また透析40年を迎える人の表彰もあることなどを「ぜんじんきょう」の誌上で知りました。私も今年で透析が丁度40年になったことを思い出し、今まで参加した事のない本大会に出席しようかしら、また、透析40年の人が集まるなら、その人達にもお会いしてみ

たいとも思いました。

しかし、地図で見ると東京からはあまりに遠く、果たして無事に行つて来れるかしらと不安になつて迷つたりしておりましたが、大会が近づくにつれて東京から行く会員の方と一緒に行けたらと思ひ、全腎協に電話をしたところ、東京からの出席者は佐藤さんだけと言われてしまいました。それを聞いて、主人が心配して一緒に行つてくれることになりました。

大会当日、開会の九時半近くになつて表彰者は表彰者席に案内されましたが、すぐに舞台裏に行つて下さいと案内され、うす暗い階段を登り、舞台の端の椅子に座つて、オープニングのフルートとハープの演奏を聴き、次に亡くなつた方への黙祷をして、主催者の挨拶、福井県腎友会会長の歓迎の挨拶や多数のご来賓の方の挨拶を聞き、祝電披露と福井の患者さんの訴えがありました。そして、長期透析者の表彰があり、受賞者は舞台の真ん中の方に移つて椅子に座つたまま名前を呼ばれて、その場でお辞儀をするだけで簡単に終わりました。その後、功労役員感謝状贈呈があり、大会決議案が採択

40年長期透析顕彰者（右から二人目が佐藤さん）



されて第一部が終わりました。

その後で、大本山永平寺副監院武内宏導師の記念講演を聞きました。何事もゆったりと、「身と息と心」を整えてという事を色々例をあげてお話しして下さいました。

次の講演では、「透析のかゆみ」についてで、やはり食べ物と兼ね合いが大切なようでした。次のランチオンセミナーと称する「栄養と運動」についてのお話は、食事もしっかりとつて運動もスポーツのような運動ではなく、上手に体を動かすことが大切だと言う事のようにでした。

昼食休憩のあとは、「下肢動脈疾患」についてのお話で、透析を続けていくには足の健康にも十分注意して気を付けなければいけないと言う事で、マッサージや簡単な体操を行うと良いようなお話でした。

最後は今までの講演のお話とはうって変わつて、福井の高校生のチアリーダーの元気な姿に力づけられて、閉会の挨拶となりました。私もこの大会に出席して各先生方の講演と共に多くの透析患者さんやその付き添いの方とお話ができ大変勉強になりました。

投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、旅行、趣味、食事会、サークル活動等内容は問いませんので、何でもお寄せ下さい。

また、患者会の紹介も募集しておりますので、東腎協事務局までご連絡をお待ちしております。

☎ 03-3944-4048

とうじんきょう 活動の まど

2017年度
全腎協全国大会 in 福井
くたしかな一歩を幸せ元氣
な福井から

梅原秀孝
(府中けやき会)

日時…5月20日～21日
場所…福井県フェニックス・プ
ラザ
参加者 板橋・酒井理事
梅原会長
榊原理事(全腎協理事)

オープニングにフルート、ハー
プの演奏で華々しく開会されまし
た。初めに黙祷、続いて主催者挨拶、来賓の国会議員、県知事、福
井市長の挨拶がありました。祝電
披露、患者の訴えとして、松井は
るみさんより切実な透析者の苦悩、
しかし、現在は感謝の心で受け止
めている様子が感動で共感しまし



全腎協全国大会

た。その後、長期透析者表彰があ
り、出席者は7名でした。また、
功労役員に対する感謝状の贈呈が
ありましたが本人は4月に亡くな
られたとのことでした。最後に大
会決議案を採択して、記念講演に
移りました。

記念講演は、大本山永平寺副監
院の武内宏導師が講師でした。
テーマ「やわらかな容顔」

～調身・調息・調心～
この講演は、柔らかに、穏やか
で素晴らしく会員の感動を呼びま
した。

福井県腎友会の会員は600名

で、大会には高校生もボランティア
アでお手伝いをしていて、立派な
大会だと感じました。

全腎協40年長期透析顕彰者

- 酒詰孝子様 (金町中央病院グル
ープ)
- 木村 勝様 (新中野フェニッ
クス会)
- 小野信子様 (長久保ハナミズキ
会)

○桜井謙一様 (すながわ相互診療
所患者会いずみ)

○三好亘子様 (個人会員)

○佐藤紀子様 (個人会員)

おめでとございます。

江東区腎友会 第8回料理教室開催 ～災害を意識して～

木村つね子
(個人会員)

6月4日(日)江東区腎友会で
初めてバイキング(炊き出し)風
にしました。

主食のナポリタンのパスタは塩
なしで茹でる。(レトルトのナポ
リタンを使用)カレーは甘口のカ
レールーにスパイスを活用。

デザートは宝石箱の様なコーン
とココの実には、缶詰と乾物を使



江東区腎友会料理教室

用、野菜はちぎって水にさらす。
(カリウムを抜く) バニラセーキ
は、栄養価の高い飲み物です。

参加者26名を5班に分けて、ナ
ポリタンとサラダはバイキング台
で各自お皿によそい、カレーは各
班長さんが、ママの様に御給仕を
してもらいました。皆さん慣れて
いるのでテキパキと腕を振るって
早めに炊事が進行了ました。

交流カフェでは、参加者の紹介
があり、特に初参加や、遠方の方
腎移植をされた方には拍手が大き
く湧き、話も盛り上がり楽しいひ
と時を過ごされました。「仲間がい

る」仲間と笑顔で談笑、災害時でも少しでも安堵し食欲がわくと良いですね。
来年もこの調理室に集い、楽しいランチが出来るようお願いばかりです。

NPO法人 板橋腎友さくら会 第16回総会&記念講演会

古木直之
(鶴田クリニック友の会)

去る平成29年6月4日(日)午後1時から、NPO法人板橋腎友さくら会第16回総会&記念講演会



NPO法人板橋腎友さくら会総会&講演会

が開催された。

第1部は、第16回総会で参加者は正会員だけなので正会員6名と板橋区議1名でした。

第2部は、記念講演会「透析患者の運動療法」〜いつまでも元気に歩けるように〜と言うテーマで、高島平中央総合病院リハビリテーション科杉山隆廣先生にお願いしました。

内容は、透析患者の体力、酸素摂取量は健常人の50%、60%、下肢筋力は健常人の40%、ADLは健常人の50%、「運動すると良いことがある」「血圧が下がる」「糖尿病が良くなる」「内臓脂肪が減る」「高脂血症が良くなる」「脳卒中や心筋梗塞を予防する」

運動時の注意点、「血圧が高い時は強い運動を行わない」「透析後の疲労感や低血圧時には運動は行わない」「痛みが発生したら透析医師に相談し整形外科医に診察してもらおう」「一日30分以上の有酸素運動(歩くなど)、体調に気をつけて無理をしない」「運動を0にしない」などの体をほぐしながら話してもらいました。参加者は38名でしたが、とても良い話を聞いたと思います。

北部ブロック 正会員会議報告

鈴木明彦
(高中腎友会)

日時：平成29年4月16日(日)

11:00〜14:00

場所：ルノアール巢鴨駅前店

〔会議室〕

出席者15名・氏名・患者会(敬称略)

上垣保朗(阿佐ヶ谷すぎ腎友会)、森谷湖茂(河北葦クリニック腎友会)、古木直之(鶴田クリニック友の会)、三河勝実(高中腎友会)、塚田久喜(新中野フェニックス会)、隅田一巳(高松病院腎友会)、小野崎勝(練馬桜台クリニックさくら会)、岩上建美(練馬桜台クリニックさくら会)、水上(新会長)(練馬桜台クリニックさくら会)、山崎弘(東海病院ひまわり会)、清水猛(優人クリニック患者会)、榊原靖夫(高中腎友会・北部ブロック長)、三好かおり(高松病院腎友会)、工藤育夫(東海病院ひまわり会)、鈴木明彦(高中腎友会)

議題

(1) 自由討論に入る前に、榊原ブロック長より「北部ブロック長挨拶」及び「東腎協・全腎協の活動報告」あり。

・東腎協会長藤田氏辞任、新会長に梅原秀孝氏就任



北部ブロック正会員会議

・全腎協会長今井氏辞任、新会長に馬場亨氏就任

・会員数の減少に伴い経費の削減(事務費・日当・交通費等)
・会員数平均平成17年7000人、現在3500人

(2) 自己紹介及び各患者会の近況報告

・各出席者自己紹介及び各患者会の近況報告あり

(3) 自由討論

・送付書類の回数が多く思われるので検討してはどうか。

・機関誌(全腎協年6冊、東腎協年4冊)の発行回数が多いと思わ

れるが必要か。

・熊本の災害見舞金について東京はゼロですが、どうしたのですか。

*榊原ブロック長より、全腎協支給規定により見舞金が支払われるので各県に全腎協事務局から通知がなかったのだ。

・会員加入・会費集金・役員就任等について問題の提起がされたが、これと言って解決方法はなく難しい。

練馬腎患者ネットワーク 2017年度活動方針 打合せ

山崎 弘
(東海病院ひまわり会)

日時：6月4日(日)

9:30～11:30

場所：ココネリ3階 談話室

参加者：練馬桜台クリニックさ

らら会・高松病院患者会・東海

病院ひまわり会 計7名

練馬腎患者ネットワークでは、

2016年度に「災害時の透析」を確保すると言う事で、練馬区地域医療課と協力して、災害時に送迎の車両が運行できるように「練馬区透析患者送迎協議会」を設立、更に「災害時通行許可書」を東京都公安委員会から交付を受けまし



練馬腎患者ネットワーク定例会

た。これにより透析患者の送迎の足が確保できました。また、平成28年度石神井東中学校医療救護所訓練では、初めて透析患者移送訓練も組み込まれました。

2017年度は、「透析医療スタッフの確保」について取り組みたいと思います。医師は、災害時に於いても通行はできるようですが、看護師、臨床工学士は通行できません。透析治療にはスタッフがいないければ、治療はできません。看護師、臨床工学士の足を確保することが重要課題です。

江戸川区腎友さつき会 結成第25回定例総会報告

戸倉振一
(江戸川区腎友さつき会会長)

江戸川区腎友さつき会は東腎協加盟の江戸川区内の透析施設患者会、森山友の会、新小岩クリニック患者友の会、瑞江腎友会、親水クリニック友の会の江戸川区在住者を中心に、他区の透析施設へ通院している江戸川区在住者にもご協力いただき、約130名で活動しています。主な活動は、江戸川



江戸川区腎友さつき会定例総会&講演会

区行政、議会への要望、江戸川区との共催の腎機能障害者向け講演会の開催、会員相互の親睦・交流また社会貢献活動として、区民まつりに参加し、臓器提供意思表示の啓発、CKD(慢性腎臓病)の重症化予防の啓発活動行っています。

去る、6月4日(日)第25回定例総会を江戸川区タワーホール船堀にて開催しました。当日は、この1年で残念ながら亡くなられた会員の皆様への黙祷、会長挨拶、当会顧問の都議会議員1名、区議会議員3名にご列席いただき、ご挨拶いただいたあと、平成28年度の事業・決算・会計監査報告、平成29年度の事業計画・予算案の提案をし、いずれも承認されました。

今年度も、江戸川区社会福祉協議会から、基本助成金約13万円、福祉バス助成金約15万円を受けることができましたので、有効に活用し、江戸川区の透析者の福祉の向上、災害対策の充実、社会貢献事業をこれまで以上に推進していきます。また、江戸川区障害者福祉課主催の江戸川区地域自立支援協議会の委員に再任されましたので、障害者福祉の向上にも努めて

いきます。

総会の記念講演では、江戸川区障害者福祉課の加藤麻希子課長をお招きし、平成28年4月に施行されている「障害者差別解消法」について説明していただきました。障害者の権利に関する国際条約締結までの日本の取組み、合理的配慮（過度な負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な便宜のこと）について、内部障害者、難病者に対する合理的配慮の事例について、江戸川区作成の広報ニュースのビデオもまじえ説明していただきました。

日野クリニック第7回 総会日野・百草・豊田 クリニック合同学習会

7月2日（日）日野クリニック腎友会第7回総会・学習会（日野・百草、豊田）が17名の参加で行われました。総会では東腎協第12回総会方針を受けて、透析患者をめぐる情勢や患者会の意義などが討議され、新たに開設された平山城址腎クリニックを含む4施設で日

野市地域腎友会の組織化を目指すことで一致しました。

第2部では、賛助会員の東京在宅サービスさんのご協力で、「体を温める事の大切さ」温罨法、腰痛・肩こり対策」というテーマで、家庭で出来るホットパックの作り方、使い方の実施体験をしました。参加者の半数以上の方が腰痛や肩こりに悩んでおり、質問もたくさん出て喜ばれました。慶応大学の女子学生さんも卒論テーマの研究でゲスト参加され、和気あいの学習会になりました。



日野クリニック総会&学習会

「思う」ことで 変えられる

著者：古菌 勉

「60歳まで必ず生きる」を約束
26歳で透析導入、妻にプロポーズする時「60歳まで必ず生きる」を約束、約30年間で血液透析、腹膜透析、在宅血液透析、そして、移植登録から移植を受けるまで17年間まって献腎移植をし、全ての腎不全の治療法（腎代替療法）を経験して命をつないできています。現在も人生の目標に向けて一歩ずつ歩み続けながら活躍をしています。全ての透析患者の人に勇気を与える書籍です。

「60歳まで必ず生きる」腎臓病 エンジンア がゆく
SOUZON TOSHINO
古菌 勉

透析患者 だけでなく 全ての人へ

13歳で腎臓病を発症。血液透析、腹膜透析、在宅血液透析、そして献腎移植と全ての腎不全の治療法をつなぎながら強く生き抜く。この不屈のエピソードは、透析患者だけでなく全ての人に生きる勇気を与える感動の書です。

NPO法人腎臓サポート協会理事長 松村満美子

発行：株式会社はる書房／定価：1,300円+税

暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03-3694-5621 FAX03-3694-5628</p> <p>院長 西尾 恭介</p>	<p>〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-64-8 笹塚サウスビル2階 ☎03-5304-1131</p> <p>院長 布川 朝雄</p>	<p>多摩ブロック長 杉崎憲三郎 中部ブロック長 中村 博 北部ブロック長 榊原 靖夫</p> <p>事務局長 板橋 俊司 事務局次長 白坂 徹夫 理事一同</p>	<p>中南部ブロック長 須賀 春美 副会長 戸倉 振一 副会長 小野 誠</p>	<p>NPO法人東京腎臓病協議会 会長 梅原 秀孝 副会長 小野 誠</p>
<p>〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目21番1号 ☎050-5865-5600 FAX03-5669-0635</p> <p>理事長 加藤 貴志</p>	<p>〒107-0062 東京都港区南青山 7-18-1101 ☎03-6805-1836</p> <p>院長 鈴木 孝子</p>	<p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4-11-9 ☎03-5999-0723 FAX03-5999-0823</p> <p>理事長 永野 正史</p>	<p>〒130-0022 東京都墨田区江東橋 3-10-8 オーク錦糸町ビル5F・6F ☎03-3634-9033 FAX03-3634-9466</p> <p>院長 森山 君子</p>	<p>〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03-3688-9901 FAX03-3688-9973</p> <p>院長 加納 達也</p>
<p>〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 ☎03-5600-0805 FAX03-5600-0805</p> <p>院長 古川 猛</p>	<p>〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261 ☎042-491-2211</p> <p>理事長 高木 由利</p>	<p>〒154-0024 東京都世田谷区 三軒茶屋1-21-5 ☎03-3410-7321</p> <p>院長 大坪 由里子</p>	<p>〒284-0008 千葉県四街道市鹿放ヶ丘593-3 ☎043-304-8161 FAX043-304-8163</p> <p>理事長 富家 隆樹</p>	<p>〒356-0054 埼玉県ふじみ野市 大井武蔵野1277-1 ☎049-262-8686 FAX049-256-5300</p> <p>理事長 富家 隆樹</p>
<p>〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ鞠子 3階3号室 ☎03-3838-8723 FAX03-3838-8723</p> <p>理事長・院長 井口 靖浩</p>	<p>〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号 ☎03-3333-2116 FAX03-3333-2116</p> <p>理事長 寺田 光男</p>	<p>〒190-0002 東京都立川市幸町5-9-2 ☎042-5338-1502</p> <p>所長 小泉 博史</p>	<p>〒205-0023 東京都羽村市神明台1-30-5 ☎042-554-5420 FAX042-555-3151</p> <p>所長 小林 重雄</p>	<p>〒174-8502 東京都板橋区小豆沢1-6-8 ☎03-3966-8411</p> <p>院長 篠田 格</p>

暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>医療法人社団 駿昭会</p> <p>小池内科 院長 小池 昭夫</p> <p>〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目13番16号上田ビル ☎03-3265-0203</p>	<p>医療法人社団 腎と水</p> <p>新中野透析クリニック 院長 津田 信次 スタッフ一同</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町3丁目23番3号新中野AMビル1階 ☎03-3337-0811 FAX03-3337-0812</p>	<p>医療法人社団 秀佑会</p> <p>東海病院 院長 江本 秀斗</p> <p>〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03-3999-1133 FAX03-3999-7027</p>	<p>医療法人社団 三友会</p> <p>あけぼの病院 理事長 南郷 俊明</p> <p>〒194-0021 東京都町田市中原 ☎042-728-1111 FAX042-728-8469</p>	<p>医療法人社団 光靖会</p> <p>北村記念クリニック 院長 安東 克之</p> <p>〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-49-10 ☎03-6223-1159 FAX03-6223-1159</p>
<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星西新宿診療所 院長 中尾 俊之</p> <p>〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目12番12号 ☎03-5330-4565</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>十条腎クリニック 院長 街 稔</p> <p>〒114-0034 東京都北区上十条2丁目13番1号 ☎03-3908-2411</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星新宿南口クリニック 院長 高橋 俊雅</p> <p>〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目9番2号久保ビル3階 ☎03-3376-0191</p>	<p>医療法人社団 順洋会</p> <p>武蔵野総合クリニック練馬 院長 下村 洋 透析センター長 藤野 鉄平</p> <p>〒176-0001 東京都練馬区練馬1丁目26番1号 ☎03-3993-7015</p>	<p>医療法人社団 自靖会</p> <p>自靖会親水クリニック 院長 北村 唯一</p> <p>〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 ☎03-5666-1138 FAX03-3674-7036</p>
<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星赤羽クリニック 院長 喜田 浩</p> <p>〒115-0045 東京都北区赤羽2丁目11番3号 ☎03-3902-0255</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星田無クリニック 院長 福井 光峰</p> <p>〒188-0011 東京都西東京市田無町2丁目21番地12号 ☎042-464-5711 FAX042-464-5711</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>大泉学園クリニック 院長 草場 岳</p> <p>〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-40-24 ☎03-5947-5681</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>練馬高野台クリニック 院長 鈴木 重伸</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台1-8-15 ☎03-5372-6151</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>新線池袋クリニック 院長 目良純一郎</p> <p>〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-10 ☎03-5911-1125</p>
<p>医療法人社団 成和会</p> <p>西新井病院 血液浄化透析室 理事長 金 光宇</p> <p>〒123-0845 東京都足立区西新井本町1-12-12 ☎03-5647-1700</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>立川北口駅前クリニック 理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕</p> <p>〒190-0012 東京都立川市曙町1丁目31番2号遠藤創進ビル3階 ☎042-523-2299 FAX042-523-2400</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>腎内科クリニック世田谷 理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03-5596-9149 FAX03-5596-9149</p>	<p>特定医療法人 清湘会</p> <p>清湘会記念病院 理事長 佐々木 成</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2-17-24 ☎03-3636-2233 FAX03-3636-2233</p>	<p>医療法人社団</p> <p>清光会 理事長 横山 志郎</p> <p>〒249-0001 神奈川県逗子市久木4丁目25番8号 ☎046-873-7141 FAX046-873-9991</p>

暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>医療法人社団 心施会 理事長 杉崎健太郎 〒183-0055 東京都府中市府中町 1-8-11 第7三ツ木ビル6F ☎042-3366-8909</p>	<p>医療法人社団 心施会 府中腎クリニク 〒183-0055 東京都府中市府中町 1-8-11 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042-3366-8909(代)</p>	<p>医療法人社団 心施会 南大沢パオレ腎クリニク 〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-2パオレ5F ☎042-677-4477</p>	<p>医療法人社団 心施会 八王子東町クリニク 〒191-0082 東京都八王子市東町 7-6ダヴィンチ八王子7・8F ☎042-646-6996</p>	<p>医療法人社団 心施会 平山城址腎クリニク 〒191-0043 東京都日野市平山5-38-1 ☎042-599-2311</p>
<p>医療法人社団 晴仁会 幸町腎クリニク 院長 渡辺賀寿雄 〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 ☎042-5336-3099 FAX042-5336-3269</p>	<p>医療法人社団 春口クリニク 飯田橋春口クリニク 院長 春口 洋昭 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03-5215-1151 FAX03-5215-1151</p>	<p>医療法人財団 百葉の会 銀座医院 上野透析クリニク 院長 関 正則 〒110-0005 東京都台東区上野 2-12-20 ロータスビル3階 ☎03-5817-8770</p>	<p>医療法人社団 北桜会 東武練馬クリニク 〒175-0083 東京都板橋区徳丸 ☎03-5922-3311 FAX03-5399-6880</p>	<p>社会福祉法人 むつみ会 春陽苑にここクリニク 理事長 青山 一雄 〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 ☎FAX048-621-1125</p>
<p>医療法人社団やよい会 あやせ駅前腎クリニク 院長 榎本 美穂 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-16-14 とうしんビル5・6階 ☎03-5697-8281</p>	<p>医療法人社団やよい会 北千住東口腎クリニク 院長 大森 容子 〒120-0026 東京都足立区千住旭町 11-2 学園通りビル1階 ☎03-5284-5101</p>	<p>あかつき印刷株式会社 代表取締役 工藤 盛雄 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25の2 APビル ☎03-3497-0531 FAX03-3497-0043</p>	<p>IHFヒューマンリソース株式会社 代表取締役 渡邊 充 〒106-0045 東京都港区麻布十番 2-18-8 エル麻布ビル5F ☎03-6435-3309 FAX03-5765-6251</p>	<p>イーホープペプセル 代表 三好 哲夫 〒659-0042 兵庫県芦屋市緑町 1-4-702 ☎0797-26-8591</p>
<p>エルピス株式会社 常務取締役 堀江 好美 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-6-29 ☎06-6100-5010 FAX06-6100-5020</p>	<p>株式会社 教宣文化社 代表取締役 中村 伸一 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04-2944-4432 FAX04-2944-0118</p>	<p>ジープラン株式会社 代表取締役 長谷川貴一 〒101-0032 東京都千代田区若本町1-3-3 ☎03-3864-1123 FAX03-3864-1244</p>	<p>特定非営利活動法人(NPO) 通院移送センター タンポポ 理事長 小野崎 勝 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4丁目12番13号ノイメゾン桜台1階 ☎03-3775-1177 FAX03-6775-1177</p>	<p>東京障害年金相談センター 所長 杉野 賢一 〒120-0034 東京都足立区千住 1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03-3888-6614 FAX03-3888-6615</p>

暑中御見舞申し上げます

NPO 東腎協賛助会員

NPO 法人東京腎臓病協議会

第7回大会

東腎協結成45年 記念大会のご案内

記

日時 2017年9月10日(日) 午後13時~16時30分
午後12時30分開場

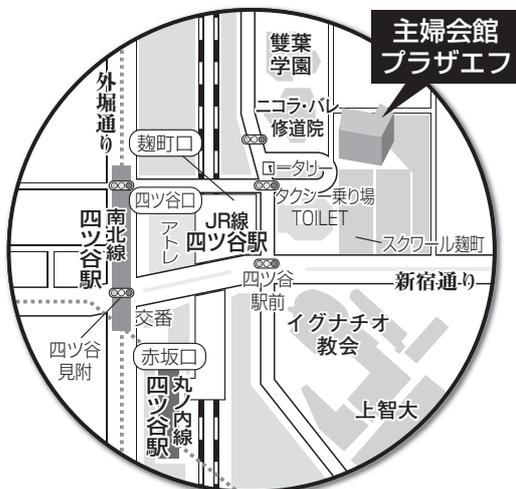
*会員どなたでも参加可 ケーキ・飲み物付き

第1部 長期透析者表彰(40年、30年)、
患者会表彰

第2部 ~首都直下型地震に備えるために~
①兵庫県、福島県、熊本県の各腎友会の
仲間の体験から学ぶ
②広域災害に対する対応について
~パネルディスカッション
③防災体験(AED、心肺蘇生)
協力: 麹町消防署
④防災展示品の抽選会

会場 一般財団法人主婦会館プラザエフ7階
〒102-0085 東京都千代田区六番町15
電話 03-3265-8111

交通機関・JR「四ツ谷駅」麹町口徒歩1分
・東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷駅」
1番出口徒歩3分
・東京メトロ南北線「四ツ谷駅」
3番出口徒歩3分



<p>〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-6-11 日東合同ビル6F ☎03-62060604 FAX03-62060604</p> <p>ドクターベジタブルジャパン株式会社</p>	<p>〒160-0022 東京都新宿区新宿 1丁目5番4号YKBマイクガーデン201 ☎03-3354-0341 FAX03-3354-0374</p> <p>株式会社 東京在宅サービス 代表取締役 中野宏次郎</p>
<p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03-52200331 FAX03-52200881</p> <p>扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店</p>	<p>〒557-0057 大阪府茨木市豊川 5-26-16 ☎072-640-2321</p> <p>株式会社 日昌医療器</p>
<p>〒135-0051 東京都江東区枝川 2-23-2 ☎03-3647-3270</p> <p>丸大食品株式会社 東日本特販営業課</p>	<p>〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-16-10 高石ビル5階 ☎0800-111-3211 FAX0120-989-8311</p> <p>ベータ食品株式会社 代表取締役 原 年秀</p>
<p>〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ☎03-35277165 FAX03-35058080</p> <p>グリーンループ合同会社 ad square</p>	<p>〒101-0043 東京都千代田区神田富山町10-2 アセント神田ビル6階 ☎03-6206-8138</p> <p>ヘルスケア事業本部 森下仁丹株式会社 専任課長 武田 泰明</p>

事務局から

ご寄付御礼

扶桑薬品工業（株）
○東京第一支店様
ご寄付ありがとうございます。

青い鳥・ハガキご寄付御礼

【患者会】

桃井診療所腎友会
八王子東町クリニック桑の実会
竹口病院腎友会
東海病院ひまわり会
日野クリニック腎友会
あけぼのクリニックいちよう会
新小岩クリニック友の会
府中けやき会
永山腎友会
清瀬会病院腎友会
昭島腎クリニックひまわり会
中野共立病院腎友会・絆の会
優人クリニック患者会
すながわ相互診療所患者会いずみ
【個人会員・他】
鈴木弘様
岸本敦様
ご寄付ありがとうございます

南大沢。パオレ腎友会

様から東腎協へ

六十八万円のご寄付

東腎協運動をけん引してきた歴史と伝統の南大沢パオレ友の会が解散することとなりました。患者会役員の高齢化と、会の柱となっていた方の相次ぐ他界に会運営が思うようにいかず、相談を重ねた結果「一旦解散して再起を期す」との決断に至ったようです。

役員さんのご厚意で会財政のすべてを東腎協に寄付するとのお申し出があり、有り難くお受けすることにいたしました。

長い間の患者会活動、本当にご苦労様でした。

(NPO東腎協会長 梅原秀孝)

今後の活動予定

7月23日(日)	東腎協129回理事会	全腎協理事会
8月	2018年度東京都予算要請(予定)	9月24日(日)
8月26~27日(土・日)	全腎協(青年会議)(仮)	東腎協130回理事会(予定)
9月	都議会ヒアリング(予定)	10月1日(日)
9月23~24日(土・日)		第37回臓器移植普及キャンペーン
		10月22日(日)
		東腎協131回理事会(予定)
		11月26日(日)
		東腎協132回理事会(予定)

編集後記

東腎協第12回総会も無事に終了しました。正会員並びに会員の皆様に感謝申し上げます。

九州地方では、5年前は大雨災害、昨年は地震災害、今年また記録的な大雨による甚大な被害が発生しています。東京は、首都直下型地震が確実に発生すると言われていますが、透析患者は今一度災害に備える準備が出来ているか確認しておきましょう。(工藤)

「会員が増えない」このテーマは東腎協だけでなく、全国共通の課題です。患者会役員の高齢化や、患者会の存在価値、意義があらた

めて問われているといえます。

東腎協第12回総会では、「魅力ある患者会づくり」として、絵手紙、書道、写真、ハイキング、スポーツなどの趣味の会を、患者会地域を超えて縦横に活動することを目指しています。発起人になれる方、ぜひ事務局へご一報下さい。(板橋)

〈事務局雑感〉

東京の至るところで都議選が戦われていたまさにそのころ、今年度の「保険料決定通知」が一斉に都民に送付された。東京23区の場合、昨年度と比べるとなんと7252円のアップらしい。これは過去10年間で最大規模。毎年、社会保障費のカットが進むなか、

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
賛助会員入会のお願い

1972年（昭和47年）11月19日、東京都腎臓病協議会（現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会）を結成しました。結成から44年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもうらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えていただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、
団体年額 1口10,000円／1口以上
※年1回名刺広告を機関誌「とうじんきょう」夏号に掲載させていただきます。



東京都腎臓移植組織適合性検査費（HLA 検査費）助成事業のご案内

①対象者

都内に住所を有し、人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、献腎移植を希望するため、公益社団法人日本臓器移植ネットワークへ登録する方（公益社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録に必要な腎臓移植組織適合性検査費が一部助成されます）。

②助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一部（平成29年度については10000円とします。）

③書類提出及び問合せ先

東京都福祉保健局 保健政策部 疾病対策課 献血移植対策担当

電話 03-5320-4506 FAX 03-5388-1437

東京都と協定を締結している HLA検査センター	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	TEL03-3588-1111
	東京医科大学 八王子医療センター	TEL042-665-5611
	東京女子医科大学病院	TEL03-3353-8111
	東邦大学医療センター大森病院	TEL03-3762-4151
その他のHLA検査センター (都内及び近隣3県)	昭和大学病院	TEL03-3784-8000
	埼玉医科大学国際医療センター	TEL042-984-4111
	埼玉医科大学総合医療センター	TEL049-228-3400
	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	TEL043-261-5171
	東海大学医学部付属病院	TEL0463-93-1121
	北里大学病院	TEL042-778-8111
公立大学法人横浜市立大学付属病院	TEL045-787-2800	

国は18年度から「国保の都道府県化」を始めるそうだ。国保への公的支出をさらに削減させることを狙ったもの。「東腎協が東京に存在している」ことの意義を吟味したい。

（白坂）

暑い夏が到来です。今年も全国的に平年より気温が高くなる予想らしいです。熱中症には十分な注意が必要です。体調には気をつけて毎日乗りきりましょう。さて話はガラッと変わりますが個人会員の中村龍史（役名は中井竜介）さんがテレビドラマ『やすらぎの郷』（テレビ朝日系列、月曜日／金曜日12時30分～50分）に期間的ですが出演されています。また、ドラマの中で行う『やすらぎ体操』も中村龍史さんが作詞・作曲・振

付を手掛けています。マッスルミュージカルを手掛けた方が東腎協の個人会員だと知った時の衝撃は今でも覚えています。個人的にも応援しています。龍史さんこれからも頑張ってください。9月5日（火）出演予定です。（松山）

表紙のことば



神田明神の神田祭は、江戸幕府開府以降、代々の徳川家に保護されるようになり発展してきましたと言われています。2017年の今年は2年に一度の本祭の年です。

「江戸三大祭」にも数えられ由緒正しい江戸の祭りの一つです。江戸時代にお祭りの山車が江戸城内に入り將軍が見物されたことから「天下祭り」との異名もあります。